

外国人労働者新時代

作：井口 泰

210781166 松浦史帆

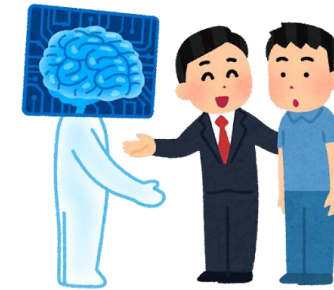
1. 外国人労働者の議論



a) 日本は1997年から少子高齢化
子供の数<高齢者人口

b) 3つの論点

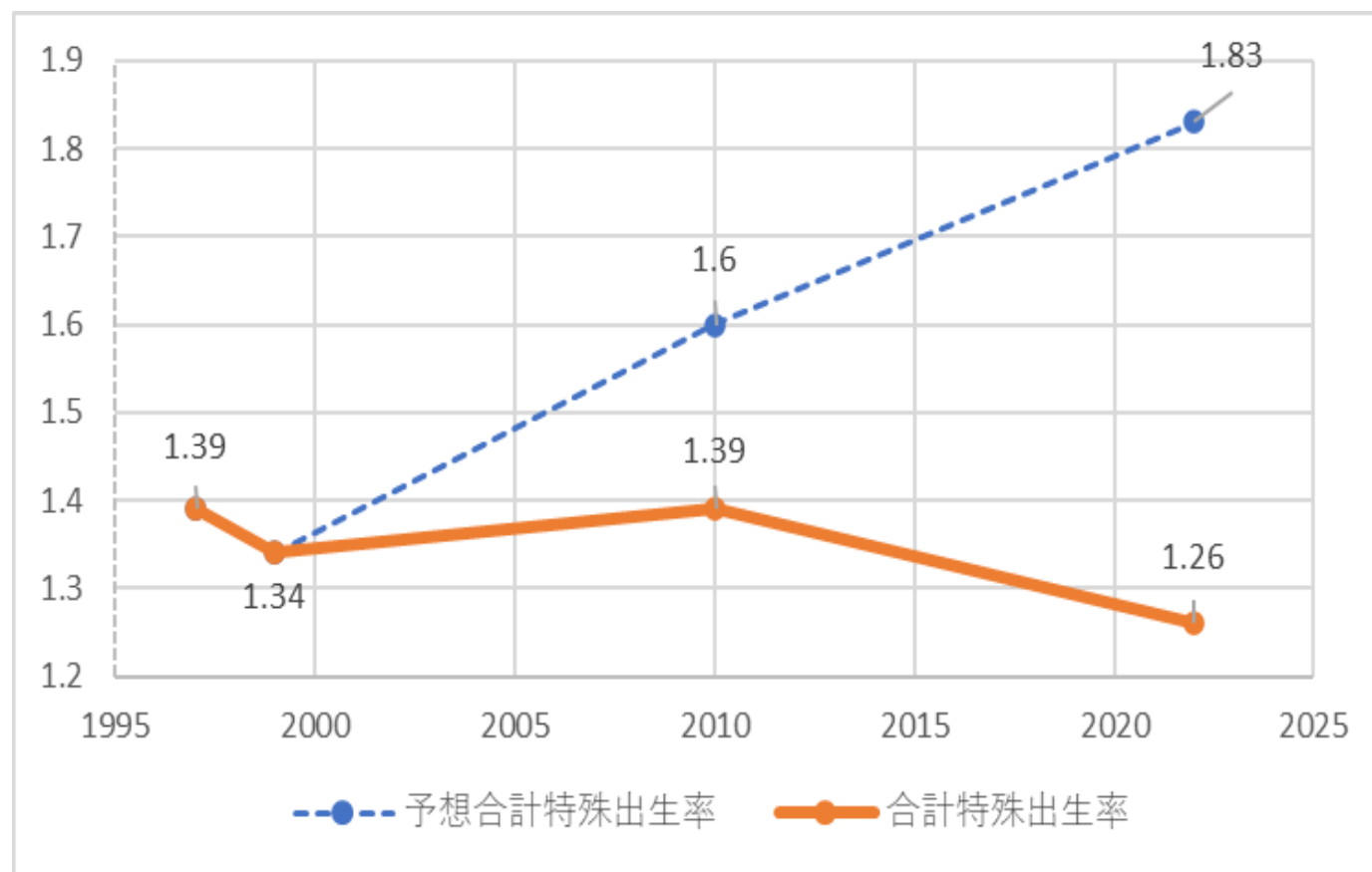
- ① I T 技術者などの高度な人材不足
- ② 3 K 労働などの特定分野における日本人労働力の不足
- ③ 将来的な人口減少に備えての移民受け入れ論



2. 第1、第2の論点

ドル切り下げ

- 1985年 200円台
- ↓
- 1987年 160円台
- ↓
- 1988年 120円台
- 日本はアジアへ生産拠点到



3. 移民受け入れによる少子高齢化

作者の井口さんによると**解決不可**

理由：移民受け入れによる人口規模や人口構成を是正
外国人労働者導入による労働市場の不均衡是正

海外の事例や経済学的考察から効果が薄い



4. 人材開発・還流モデル

対象：主に東アジア諸国（アジア）

アジア経済の地域統合を進めていくプロセス

日本の企業や機関でアジアの人材を開発⇒その一部は母国に還流し、能力を発揮

特に**中間職種**の育成

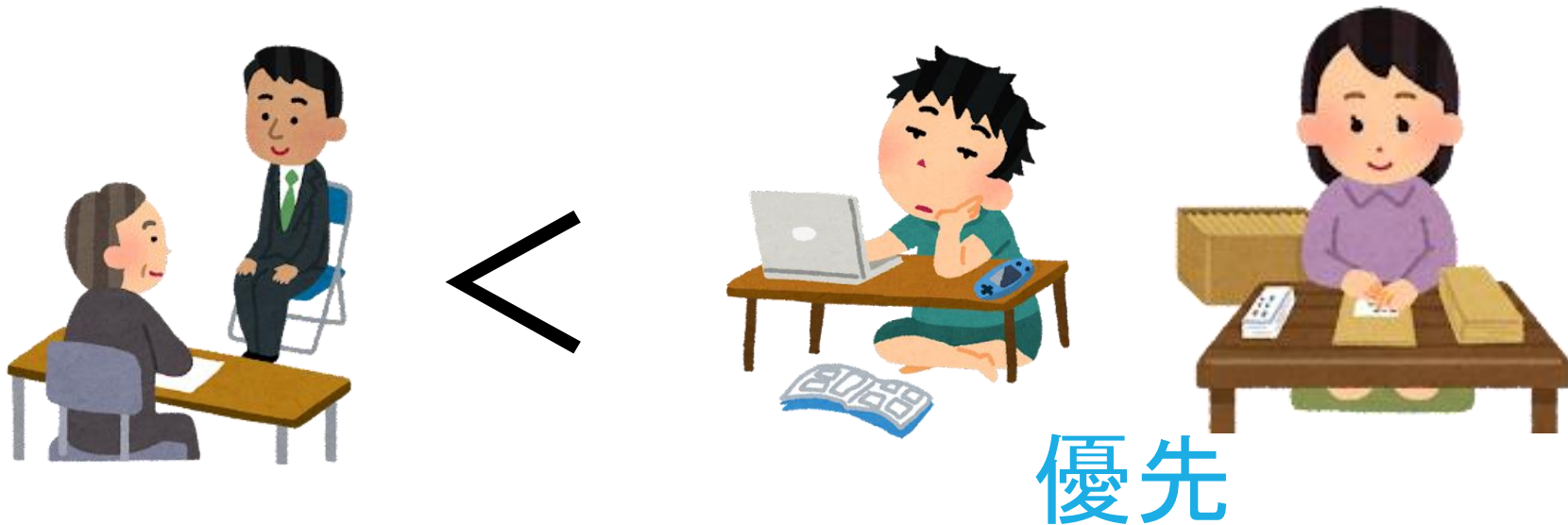
最大の問題：コストを誰がどのように負担するか



5. 結論

外国から誘致の場合：社会的統合で日本人と同一待遇

だが、外国人労働者の誘致よりも、国内での女性の社会進出やニート雇用が最重要課題



ご清聴ありがとうございました